

「たしばなふみ市議代表質問① 市民の暮らしを支える松江市へ」

たしばなふみ市議は、6月議会代表質問にたち、市民の暮らしを支える松江市へ、ジェンダー平等の松江、子どもの権利尊重する学校づくり、歳を重ねるほど楽しい松江、島根原発はストップをの5項目質問しました。表題の質問を抜粋して紹介します。

「コメ問題の解決は

たしばな市議は「昨年から続くコメ不足や備蓄米の活用が円滑に行われなかったことなどの根本原因は、国の農業政策にある。国は農家に対しては所得補償をし、再生産できる環境を整えるなど農業を支える政治に大きく転換することが求められている」として松江市の農業をどう支えるか、国に対して農家に対する

水道料値上げやめよ

たしばな市議は松江市の水

学校給食費無償化を

たしばな市議は「全国では学校給食費の保護者負担を無償にする自治体が3割を超えたが、松江市はこの物価高騰の中値上げし、半額補助の終了で保護者負担は2度増加した」と指摘し、値上げ相当分の補助、給食費無償化、一般財源の活用をさらに広げることと求めました。

オムツの無償配布を

たしばな市議は「オムツが高くて十分買えない」「ミルクを薄めて使っている」このような子育て世帯の実態を紹介し「1歳まで無料でオムツを配るオムツ定期便が全国に広がりつつある。この取組は赤ちゃん訪問として配達員が手渡しすることで虐待のおそれを早期につかむなど産後ケアの充実にもつながっている。」として防災備蓄品を活用したオムツ無料配布の開始を求めました。



たしばなふみ市議員

道料金値上げ方針は「一般家庭の値上げ率は発表された平均26・02%を大きく上回る36・05%だ」と指摘。「物価高騰に市民生活がおいづめられていく今、市民生活をさらに圧迫するような料金値上げ等を行うべきではない」と訴え「一般財源を投入し、値上げせず引き下げを。県に対し、高騰する受水費の減額を求めるべき」と訴えました。

小塚豊上下水道局長は「改定率は維持管理に必要な最小限のコストを参入した。受益者負担の原則に基づき一般財源を投入しての引き下げは考えていない。県営水道からの受水費については引き続き安価に提供できるよう意見を言うていく」と答えました。

樋野伸一市議6月議会一般質問① 松江市の医療の現状について

樋野伸一市議は6月議会一般質問で5項目質問しました。その内「松江市内の医療の現状について」を報告します。

全国公的病院連盟は2023年度、全国の病院の8割が赤字と厳しい現状を報告しました。今年4月、国が病床数適正化支援事業として1床削減毎に医療機関に対し400万円を支援すると発表したところ全国から5万床を超える申請が殺到しています。



樋野伸一市議員

松原正健康福祉部長は「病

床数適正化支援事業の実施主体は島根県。病床適正化が地域医療に影響を及ぼさないよう動向を注視する」「物価高騰支援は今年度応援金を県が医療、介護、保育施設等に支給する。物価高騰の状況と影響を注視するとともに診療報酬改定等適正な措置が講じられるよう全国市長会を通じて国に要望する」「看護師確保対策については松江看護専門学校と松江総合医療専門学校へ運営費の補助を行って学校へ運営費の補助を行って全国市長会を通じて国に看護職場の処遇改善を要望している」などと答えました。

佐野みどり市議6月議会一般質問① マイナ保険証と 国保証発行停止について

佐野みどり市議は、6月議会3項目質問しました。「マイナ保険証と国民健康保険証の発行停止について」報告します。

紙の保険証発行停止から半年、9割の開業医でトラブル



佐野みどり市議員

があるとの調査結果もあります。混乱を避けるため国は75歳以上の方にマイナ保険証の有無にかかわらず、後期高齢者医療資格確認書を交付することを決定しました。

佐野市議は、国民健康保険証の切り替えでは混乱が予想されるとして世田谷区・渋谷区と同様に、松江市でもマイナ保険証の有無にかかわらず、国保の被保険者に一律に資格確認書を発行することを求めました。また、マイナ保険証

の切り替えは、今後定期的に一生続きます。佐野市議は「施設入所者・要介護者は代理人での手続きとなり、家族への負担や、更新忘れなどさらに煩雑になる」と指摘し市民への周知徹底を求めました。

松原正健康福祉部長は「特段の混乱はない。国民健康保険法の規定に基づいて対応していく。マイナ保険証は強制ではなくあくまで任意であること、今後も資格確認書で保険診療が受けられることを周知し、わかりやすく説明していく」と答弁しました。

佐野市議は「制度の変更により誰一人無保険状態になるなど困ることがないように対応強化を」と再度求めました。